東日新聞
TONICHI NEWS
新聞定価・1ヵ月1,850円、一部80円（税込み）
東日新聞 2012年（平成24年）第3種郵便物許可 11月25日（日）

街中を子どもの笑顔いっぱいに

未来館を中心に試み

豊橋中心市街地で運動を

豊橋の街なかを子どもたちの笑顔でいっぱいにしよう―。そんな試みが、こども未来館（松葉町3丁目）を中心に進められている。

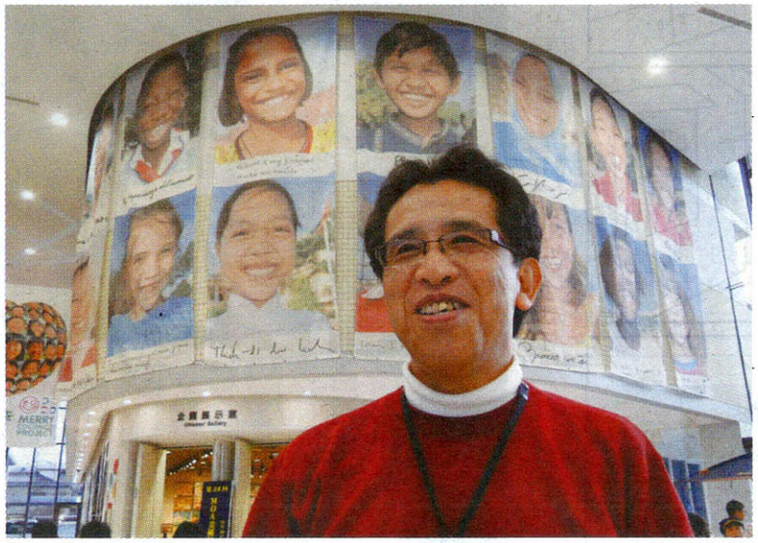
子どもクリーン隊に参加してくれた子の顔写真で製作した壁掛け

今月15日から同館には、子どもたちの顔写真をプリントした巨大な壁掛けが出現。大橋通側と正面いこいの庭園側の外壁、館内ここにこ広場の計3カ所に世界14カ国42人の笑顔がずらりと並んだ。

もともと飾られていた東京の国際協力機構（JICA）の施設が閉鎖になったことを受け、所有するNPO法人「メリープロジェクト」（水谷孝次代表）が、こども未来館に譲渡との含みで貸与した。

メリープロジェクトは2008年の北京五輪の開会式で「笑顔の傘」をプロデュースした実績を持つ。全国の自治体などに協力し、「笑顔」を切り口にまちづくり事業を展開している。

このNPOとこども未来館との共同での取り組みが、ここ1年で急速に広がっている。今年5月に始まった「子どもクリーン隊」の活動もその1つだ。


メリープロジェクトから貸し出された壁掛けを前に、まちづくりへの思いを語る豊田副館長

園児から高校生までが月1回、豊橋駅前の中心市街地でごみ拾いをして回る。同館が声をかけるスポーツクラブのメンバーと一般からの申し込みを合わせ、毎回10人～30人ほどの参加がある。

こうした活動を通して会話を交わすようになった商店主が子どもたちにおやつを差し入れるなど、両者の間に人間関係も構築してきた。

自治体とNPOの共同事業に市民を巻き込む構図に、こども未来館の豊田達也副館長は新しいまちづくりの可能性を感じている。

水谷代表自らが駆けつけたときには清掃終了後、参加してくれた子どもたちの笑顔を撮影する。それらの写真を加工し、巨大なハートをかたどった壁掛けを製作。すでに3枚が同館に展示されている。

水谷代表がいない場合でも、代わりにこども未来館のスタッフが撮影。こちらは旗状の布に印刷し、街なかで大きなイベントがあった時に広小路通りの店先に掲げている。

今年度、水谷さんが子どもクリーン隊を撮影するのは12月15日が最後。ここで撮った笑顔の写真をもとに4枚目の壁掛けを作り、来年3月末までには、駅前商店街のときわ通りアーケードに4枚すべてをつるす。

街なかが子どもたちの笑顔で溢れる光景を思い描く豊田副館長。「気持ちが落ち込んだときも、子どもたちの笑顔を見て元気になってもらえたら」と期待する。

子どもクリーン隊の参加希望者は、こども未来館＝電話0532（21）5525＝へ。（中嶋真吾）

ありがとう!90年
冬のボーナスはとよしんへ
応援 定期預金 定期積金
おたくも うちも
豊橋信用金庫
http://www.toyo-shin.co.jp